

* 2023 年度に履修登録された HJ17（高齢者心理学）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目 講義科目

授業科目名	高齢者心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	杉山 美香	HA57	—	2

科目の概要

かつて老年期は、人生区分の最終段階であり、身体の老化とともに心理的衰退を見る時期とされていた。しかし、高齢社会を迎えている現在においては、あてはまらなくなっていると言ってもいいのではないか。

本科目では、老年期における心理を幼児期から成人期までの発達段階での生き方を通して学んでいく。将来の自分の姿の投影として学ぶことで、より理解も深まる。

科目の到達目標

- ①加齢に関する変化や、高齢者特有の精神疾患とその対応について説明することができる。
- ②高齢者を取り巻く制度や社会について説明することができ、高齢者心理学に関する理論を基に自分の考えを論理的に述べるすることができる。

テキスト 『老年期の心理学』 福屋 武人(編著), 学術図書出版社, 2004年

テキストの読み方

- ①第1章は、発達研究でよく用いられる研究法から、生物学的な老化の機序についてまで触れられ、第2章は知覚や反応時間の老化について、第3章は記憶に焦点を当てた認知機能の特徴について、第4章では幼児期、青年期と高齢期の知能の違いから、高齢者の知能の特徴について触れられている。
- ②第5章は高齢者の感情に関して述べられている。第10章と内容が重なる部分も多いため、並行して読み進めるとよい。第6章はパーソナリティの発達について、第7章は人間関係について、第8章は社会参加に関してだが、後の2つの章は深く関連しており、活動的な高齢者の要件とそれを支える制度について予習しておくとうい。
- ③第10章は老年期に多く見られる精神障害について、第11章はその対応についてである。専門用語や心理学の学術用語が多く出てくるが、用語の意味を整理しつつ読み進めるとよい。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。